

愛犬のトレーニング方法についてのこだわり

貴方はまちがえていませんか？

永井 深雪 著

**このたびは、当レポートをご請求いただき、
有難うございました。**

**このレポートは無料配布となっておりますが、
著作権につきましては、放棄いたしておりません。**

**無断転載、および、いかなる媒体においても、複製、配布、
配信等は禁止とさせていただきます。**

**あくまでも、本レポートをご請求くださいました、貴方様が、
ご自身の愛犬の躰を目的として、その考え方の参考のため
にご利用いただきたいと存じます。**

NAGAI DOG OWNERS SCHOOL

永井 深雪

改めまして、自己紹介をさせていただきます。

私は、メール相談による問題犬等の躰指導を行なっております、永井 深雪と申します。

<http://merumaga-back.seesaa.net/>

本レポートでは、

日々私の元に寄せられる、飼い主さんたちの考え方の誤りについて、末筆ながら、簡略的に、お伝えしていきたいと思えます。

躰に悩んでいらっしゃる飼い主さんの傾向として、ご自分の愛犬には、いったいどのような方法が合っているのだろうか？
といった疑問をお持ちの方が多ようです。

巷では、『肯定強化法』だとか、『強制法』、あるいは『天罰方式』など、種々の言葉が、トレーニングを始めようとお考えの飼い主さん達の前に、次々と出現し、どちらが人道的であるかということや、どちらが愛犬には理解し易いかといったことが、常に話題となっていますので、皆さんも、そういったお話は、何処かで耳にした事があることと思います。

しかし、こういった話題というものには、ある程度、冷静な視点で考えるということが、必要であるといった事は、どこにも書かれてはいないようです。

当レポートでは、先の三種類のしつけの方法について、その注意点を、簡単にお話させていただこうと思います。

まずは、『肯定強化法』という方法の中でよく使われている『人道的』という言葉について、考えることにいたしましょう。

人間は、人道的であるということが、とても良いことの様に、考えやすい傾向があります。

しかし、残念なことに、人道的であるということが、犬という動物にとって、人間同様に、理解・消化しやすいことであるとは限りません。

人間が考えた人道的であることは、犬という、人間とは異なる本能を持つ動物にとっては、理解し難い内容をも含まれている事を考えておく必要があります。

だからと言って、非人道的である事を推奨しているわけでは
ありませんが、人道的であることに、こだわり過ぎたがために、
犬が持つ本能を歪めてしまっている飼い主さんと言うものが、
大変多く、その結果、愛犬の精神を追い詰める形となってし

まったという飼い主さんの相談が多数寄せられているといった現実がございます。

「何事も過ぎたるは及ばざるが如し」の習いどおり、あまりそこにこだわってばかりいると、愛犬が、飼い主である貴方に対して訴えている内容が、正しく読み取れず、愛犬との関係が希薄となることもあるのだという事を、心のどこかに留め置く必要が在ると感じます。

人道的であろうとお考えになられる飼い主さんであれば、ことさらそこを強く意識せずとも、今の段階であっても、充分あなたのワンちゃんにとっては、優しい飼い主であろうと思います。

そこを考慮せず、やたらと人道的であろうと考えてしまうと、気付かぬうちに、ワンちゃんの我が侘が通ってしまう暮らしをさせてしまっていたり、群れと言う縦社会の中に生きる動物である、『犬が持つ思考パターンに合致しない暮らし方』をさ

**せてしまったりといった、おかしな弊害が生じる場合も有るよ
うです。**

次に『強制法』といわれている内容について考えてみたいと思います。

**『強制法』というと、いかにも、愛犬に対して、人間が無理強
いをしていくことの様に感じてしまいやすいものですが、暴
力に訴えるということではなく、ある程度は、愛犬にとって苦
手なことであっても、我慢させるといった意味合いで受け止
めてみてはいかがかかと思ひます。**

**人間は、「我慢する」「我慢させる」という言葉に対して、不
必要に過剰反応する傾向があります。**

**それは、おそらく、ご自身が、何かを押し付けられるというこ
とに対して抱いている嫌悪感が、そのように反応させてしま
うのでしようが、犬に対して、ストレスが無い暮らしを提供す
ることは、我が飼犬を作り上げているということでもあると
いうのは、皆さんあまりご存じ無ひようです。**

愛犬にとって、極端に強く感じるようなストレスは避けてあげる必要がありますが、小さなストレスと言う場合には、あえて、それを排除する事は、おやめに成った方が正解です。

それと言うのも、日常の中で起こる小さなストレスといった程度のものでさえ、愛犬の精神が耐えられないようでは、日常生活を送っていく上で支障がおきやすくなるからです。

しつめの相談メールを送っていらっしゃる飼い主さんたちの特徴として、こういった小さなストレスを、心細やかに排除してあげていたために、愛犬の忍耐力が低下し、我慢することが出来ないワンちゃんが出来上がってしまったという場合が殆どなのです。

何に対しても我慢することが出来ないワンちゃんは、我慢出来ない状況が起こったときにパニックを起こし、その結果、鳴き喚いてしまったり、嘔むといった行動に走ったり、混乱から逸走してしまって行方不明ということに成りがちです。

小さなストレスを我慢させるという姿勢は、決して可哀想なことなのではなく、愛犬が生きていくうえで、経験する事柄に対して、極端な混乱を招くのを防ぐといった一面も持っているのです。

次には「天罰方式」と呼ばれているものについて一言。

この方法は、飼い主が制止しているのではなくて、天の神様が罰を下しているといった形で、飼い主にとって不都合な行いをしようとしたときに、犬が、苦い結果を引き起こしたという経験によって、自らの意思で、やいたかった行為や、やっていた行為をやめるように仕向けていくという進め方であり、その効果というものは大変有効であると感じます。

しかも、飼い主が直接叱ったりするわけではないため、愛犬が貴方に対して嫌悪感を抱くといったことや、貴方の存在が無ければ、やいたかった行為をやってしまうと言ったことも防げます。

飼い主にとっては、非常に楽な方法であり、愛犬にとっても理解しやすい方法であるといえるでしょう。

しかし、ここで、ちょっと考えてみる必要があります。

飼い主にとって楽であり、愛犬に嫌われることも無く、自分が其の場に居なくても、犬は不都合な行為に走らない。

しかも、犬は理解がし易いといった、願ったり叶ったりの状況は、飼い主が安易に多用しやすい方法であるともいえます。

ところが、こういった方法を多用していると、愛犬にとって、怖くて不都合な相手は、目に見えない「神様」であって、決して飼い主であるあなたではないということです。

それは、すなわち、貴方の言葉に対しては、従がう必要が無いといったことに繋がっていく危険も在るということです。

天罰方式というものは、効果が高いだけに、それを知った飼い主は、そこに突っ走る傾向があります。

しかし、そこで、ちょっと上記の事を思い出してみてください。

**いざという場面に遭遇したとき、貴方の言葉による制止が効
かなかったら、取り返しのつかないことになる可能性だって有
るのです。**

**そういった事をも考えに入れて、飼い主として直接あなたが
制止することに対しても、きちんと愛犬が従うというしつけ
も行なっておくべきだと言及しておきたいと思います。**

如何でしょうか？

**これまで、貴方がお調べになったしつけに関するお話の中に
これらの内容が書かれていたことがあったでしょうか？**

**しつけの情報というものは、概して、一方的視点からしか表
されていないものが殆どです。**

**しかし、それらの情報の奥に隠されている危険というもの
についても、飼い主として、賢く押さえておくことは大切なこと
ではないでしょうか？**

以上、まことに簡単ではございますが、私のところに相談のメールを送っていらっしゃる飼い主さんたちがなさってきた間違いの傾向についてお話させていただくことで、貴方が同じ過ちを犯す、負のスパイラルにはまり込むことが無いように願うとともに、貴方が愛犬のしつけに取り組む際の、考え方の参考にさせていただければ幸いと存じます。

永井 深雪

メール

mondaiken@situke-ok.com

著者 運営サイトURL

<http://situke-ok.com/>

<http://merumaga-back.seesaa.net/>

<http://situke-ok.com/school2.html>